

第1章

建設リサイクル制度の現状と課題

1. 建設リサイクル制度の経緯

・建設リサイクル法が施行後5年経過

2. 建設リサイクル制度の現状と効果

・特定建設資材廃棄物の再資源化率の向上  
・建設廃棄物の不法投棄の大幅な減少

3. 建設リサイクル制度の課題

(1)建設廃棄物の再資源化の促進  
①費用負担に対する意識が低いこと  
②分別解体等の取組が十分でないこと  
③施工方法が不明確なケースがあること  
④再資源化に支障を来す有害物質の存在  
⑤再資源化等状況の把握が十分でないこと  
⑥木材の縮減が多く、再資源化率が低いこと  
⑦廃石膏ボードの再資源化の取組の遅れ

(2)建設廃棄物適正処理の徹底等  
①依然として不法投棄等が多いこと  
②状況把握が十分でないこと

(3)関係者の意識向上等と循環型社会形成の促進  
①情報交換が十分でないこと  
②国民の理解・意識が低いこと  
③発生抑制に関する情報共有や実態把握・評価が十分でないこと  
④再使用の総合的な取組が進んでいないこと  
⑤再生資材の取組が十分でないこと

第2章

課題解決に向けての基本的方向性

1. 3Rの推進に向けた横断的取組

・発生抑制、再生資材の利用の推進が必要  
・建設廃棄物の物流を「見える化」し再資源化の適正性を把握する仕組みが有効

2. 建設リサイクルの促進

・リサイクル内容及び費用負担に対する関係者の理解を深め、適正な分別解体等の取組を徹底し、再資源化の向上を図ることが重要

3. 建設廃棄物適正処理の徹底

・関係者の法令遵守に対する意識向上を図ることが重要  
・行政部局間の連携強化や建設廃棄物の流れを迅速に把握し、監視の強化を図ることが重要

第3章

課題解決に向けての具体的な取組

1. 3Rの推進に向けた横断的取組

(1)発生抑制、再使用及び再生資源の利用の推進  
(2)建設廃棄物の流れの「見える化」  
(3)建設リサイクル市場の育成  
(4)分別解体、再資源化の情報提供  
(5)建設リサイクル法の周知・啓発の充実  
(6)建設リサイクルに関する技術開発等の推進

2. 建設リサイクルの促進

(1)分別解体等における取組の推進  
・対象規模基準のあり方  
・施工方法に関する基準  
・分別解体等における有害物質の取扱い  
・事前届出・通知  
・登録制度のあり方  
・工事内容及び費用の明確化  
(2)再資源化における取組の推進  
・特定建設資材の追加の検討  
・完了後の報告のあり方  
(3)縮減に関する取組の推進  
(木材の縮減のあり方)

3. 建設廃棄物適正処理の徹底

(1)適正処理における取組の推進  
・不適正処理の発生のメカニズム  
・不適正処理の防止策の実施  
(2)取締まりにおける取組の推進  
・パトロール等の実効性の向上  
・現場状況把握の強化  
・行政における情報共有等の連携強化